

## 総合防災訓練

投稿日：2016年9月27日 | カテゴリー：看護部ブログ

去る9月26日に行われた三木市の総合防災訓練に、救護班として当センターの医師1名、看護師2名と一緒に参加しました。

この訓練は毎年開催されていますが、陸上自衛隊や警察、関連企業、量販店、各種関係団体、市内自治会の自主防災組織等が参加される北播磨圏域の自治体では最大規模の訓練です。

今回は、台風による大雨で山が大規模崩落し、集合住宅1棟が埋没するという設定でした。訓練開始と共に、消防隊によりエアートントの救護所が約5分で設営され、そこに消防や自衛隊により救出された負傷者20名が続々と運ばれ、医師の指示のもと、応急処置と第1トリアージを行いました。そして、応急処置の終わった負傷者は、消防職員及び防災リーダーにより第2トリアージポストへ搬送され、救護班の訓練は約15分で終了しました。



実際に大規模災害が発生した場合の当医療センターの役割は、発生直後は入院患者の安全確保と負傷者の受け入れが中心となりますが、必要に応じて地域の医師会と連携して救護班として三木市内、小野市内の救護所にスタッフとして派遣される場合が想定されます。

毎年の防災訓練の経験がいざという時のために役立ちます。今後もこのような訓練に参加していきたいと考えています。

理事 藪本耕一